

皆さんへ、

お元気のことと存じます。我々にとっては今年は「お別れ」の年となりました。日本では喪中ということで、年賀状は出さないのが慣例ですが、一年間の報告ということで今年一年のまとめは書くことにしました。



はじめのお別れは一月の初めに来ました。20歳になろうとしていたミータローが虹の橋に行きました。かなり弱くなっていたのですが、食欲もありまだ行けるかなと思っていたところでした。何かの発作のようなものがあり、1月27日にそのまま旅立ちました。今更ながら、彼はともいい猫だったとつくづく感じます。人見知りせず、いい距離感を保ちながら、二十年間我々の生活を共有してくれました。



二つ目のお別れは2月28日でした。88歳になったばかりの父との別れでした。連絡を受けて東京に戻った時にはすでに話をできる状態ではありませんでした。昨年暮れに戻った時には、かなり認知症が出ていたので、現在の状態は正確に把握している感じではありませんでしたが、色々昔の話を引っ張り出して、「もう疲れた」と言うまで、たくさん話をすることができました。体は健康そうだったので、この状態がしばらく続くのかなと思いましたが、精神的にはこれがお別れだと覚悟しました。今年の2月に何らかの感染症で体力が落ち、意識がない状態になり、2月28日に旅立ちました。今頃は20年前に亡くなった母と再会して、楽しくやっていることでしょう。葬儀の時に甥の直紀から奥様のご懐妊の報告を受けました。新しい命の誕生、嬉しいニュースでした。

<由紀子の2019年>

三月はいつものように北米に戻り、アトランタで、ILTA と AAAL 学会に参加し、その後3月後半には一味と一緒にマルタの学会で、発表をしました。この学会では、ペンシルバニア大学のバトラー先生とマルタで合流し、マルタ島と世界遺産の城壁の町バレッタや対岸の中世の町を散策し、その後は、紀元前4500～2000年前に建てられたという巨石神殿群を訪ね、隣のゴゾ島を一周して、古代から中世、マルタ騎士団、そして近世の歴史を垣間見してきました。4月からは新学期が始まりあわただしい日々を過ごしましたが、6月末にはイスタンブールで学会発表をし、その後、カッパドキアとパムッカレにも足を延ばしました。どちらも見たことのない不思議な自然の景色で一見の価値はあると思います。7月には、帰国していた一味と伊香保温泉に一泊旅行に行き、温泉街の長い階段で老化防止のため歩きました。8月には一緒にバハカリフォルニア半島の最南端にあるロスカボスで、クルーズをした



りテキーラの試飲などをしたりしました。その後、カナダのオタワで TBLT 学会に



出席しました。9月には広大な教え子達が瀬戸内海の島めぐりに連れて行ってくれ、戦国時代から近世まで、瀬戸内海が交通の要所であったことを思い出させる古い街並みや、島の中の素敵な温泉と新鮮なお魚料理を堪能しました。その後、渡米してデータ収集、10月から国内でデータ収集をしました。10月からは授業が始まり、あわただしい毎日を送っています。でも、年末は鹿児島・熊本で温泉巡りをして心身ともにリ



ラックスし、一年を締めくくろうと思っています。

<一味の2019年 >



今年は桜が咲く頃寒くなったおかげで、花を飛び越して葉桜になってしまいました。中西部の気候帯ではまれにこういう年があります。写真は中でも数輪咲いたものの一つです。

ミドルベリーでの仕事が終わったので、今年の夏は十五年ぶりに日本での滞在時間が長くとれました。五月には地元の友人のおかげで大阪を堪能しました。(曾我部、田代、上田、山本、久保田) 吉本新喜劇も初体験しました。また高校同窓会や大学の時の旧友達とも会う機会に恵まれました。仕事のりには東京、広島、福岡で小唄のワークショップ、函館で二楽師匠と紙切りの活動、さん喬師匠とは金沢で落語の活動を行うことができました。夏の仕事が終わった分、日本での活動量を増やしました。そして、七月の半ばにはミドルベリーの戻り日本語学校50周年記念行事に参加しました。八月からはパデュー大での通常勤務に戻りましたが、十月には地元のスバルの工場がスポンサーになってくれて、左龍師匠を招いて、イリノイ大、パデュー大、地元の日本食レストラン、そして、スバルの工場と四ヶ所で落語活動を行いました。十一月には昨年パデューに来てもらった笹森さんとペンシルバニア州立大学で被爆者証言を手伝って来ました。

来年はいよいよ東京オリンピックです。JOCでボランティアとして働く予定です。



皆さんのご健康、ご多幸をお祈りします。よいお年をお迎えてください。

一味 & 由紀子

ミータロー：一足先に虹の橋で待っています。19年間、ありがとうございました。

チビタン：相棒がいなくなって、ちょっと寂しいです。ねている時間が多くなってきましたが、健康です。斎藤さん、気ままなお父さんがいないときに、面倒見てください、ありがとう。



チビタン&ミータロー

頌春 2020
